

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
日本史 ( Japanese History)	必	重松 正史	2 年生 物質工学科	2	通年 週 2 時間							
授業概要	近世（江戸時代）後期から第 2 次世界大戦までの日本史を通史的に学ぶ											
到達目標	1 この時期の日本史の基本的流れについて政治・経済・社会の三側面から説明できる 2 近代日本における科学技術の受容について基本的な説明ができるようになる。 3 日本社会の特徴について、基本的事項を説明できるようになる。											
評価方法	年 4 回の定期試験75%、授業中の課題（提出物、小テスト） 25%で評価する											
教科書等	日本史 A（三省堂）											
内 容					学習・教育目標							
第 1 週	対象とする時代についての概観（江戸時代～第 2 次大戦まで）				A							
第 2 週	鎖国とは何であったのか。日本人は世界をどのように認識していたのか。				A							
第 3 週	江戸時代の科学技術				A							
第 4 週	大黒屋光太夫など漂流者による海外情報				A							
第 5 週	1 9 世紀の世界情勢とペリー来航				A							
第 6 週	幕末社会の混乱（大地震・コレラ・ええじゃないか）				A							
第 7 週	明治維新と新政府による諸改革				A							
第 8 週	文明開化と科学技術導入の開始				A							
第 9 週	琉球処分、北海道開拓、国境の確定				A							
第 1 0 週	自由民権運動の展開、明治憲法の制定、国会開設				A							
第 1 1 週	民法制定、家族のあり方の転換				A							
第 1 2 週	日清・日露戦争				A							
第 1 3 週	台湾と朝鮮（植民地の獲得）				A							
第 1 4 週	産業革命と科学技術（1）				A							
第 1 5 週	産業革命と科学技術（2）、価値観の転換				A							
第 1 6 週	都市膨張と都市下層社会のあり方				A							
第 1 7 週	近代日本における衛生問題				A							
第 1 8 週	第一次世界大戦と日本、第一次世界大戦と科学技術				A							
第 1 9 週	大正デモクラシーと社会運動				A							
第 2 0 週	選挙、選挙権拡張と政党政治				A							
第 2 1 週	第一次世界大戦期の工業発展と工業国日本				A							
第 2 2 週	市民文化、消費社会の出現				A							
第 2 3 週	1920 年代の不景気、金融恐慌				A							
第 2 4 週	昭和恐慌と「満州事変」				A							
第 2 5 週	日中戦争の行き詰まり				A							
第 2 6 週	日中戦争から太平洋戦争へ、日本軍のあり方、兵士のあり方				A							
第 2 7 週	太平洋戦争の様相と敗因（フィリピンなどにおける戦争）				A							
第 2 8 週	沖縄戦				A							
第 2 9 週	戦時下の国民生活（空襲・労働・疎開・食料など）				A							
第 3 0 週	敗戦と戦後史へのつながり				A							
(特記事項)		JABEE との 関 連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
			◎									

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。）

# ガイドンス：日本史

## 第1週

- ・ 高専で日本史を学ぶことの意義を確認する
- ・ 中学校での日本史での学習内容をごく大雑把に復習し思い出す。

## 第2週～第6週

- ・ 19世紀後半、欧米列強による世界の植民地化が進展していた状況を見る。
- ・ 江戸時代後半期に日本国内で科学技術の「芽」が育っていた状況を知る。
- ・ 江戸時代の人々（庶民）が世界（地球）をどのように認識していたことを知る。
- ・ 漂流者の状況を具体的に知り、また和歌山（紀州）の人々がきわめて広い範囲に進出していたことを知る。
- ・ ペリー来航が幕藩体制にとって大きな衝撃であったことを理解できるようにする。
- ・ 幕末の混乱を大地震・コレラ・「ええじゃないか」などを通してなるべく具体的に知る。

## 第7週～第9週

- ・ 明治維新が大きな政治的社会的変革だったことを知る。
- ・ 文明開化が日本人の生活文化・価値観を大きく変えたものであったことを考察する。
- ・ 「日本」の範囲がいかにも固まっていたのかを具体的に解説する。

## 第10週～第13週

- ・ 自由民権運動から憲法の制定、議会開設の基本的な流れを把握する。
- ・ 帝国憲法の特質について理解する。
- ・ 日清・日露戦争についての基本的事項を理解できるようにする。
- ・ 日本による台湾・朝鮮の植民地化について知り、植民地という問題について考える。

## 第14週～第17週

- ・ 日本の産業革命について基本知識を解説し、産業革命の急速な進展がなぜ起きたのかを考える。
- ・ 産業革命が社会に与えた大きな影響について知る。
- ・ 日本社会における「貧困」について具体的に知り、貧困の克服が大きな課題だったことを知る。

## 第18週～第22週

- ・ 第1次世界大戦が最新の科学技術を動員した戦争だったことを知る。
- ・ 第一次大戦期の経済発展と大正デモクラシーの関係を解説する。
- ・ 都市化の進展、サラリーマンの形成、大衆文化の成立など日本の現代化が始まったことを知る。
- ・ 政党政治のあり方や社会運動のあり方について知る。また政党政治の問題点についても考える。

## 第23週～第28週

- ・ 第一次大戦後の不況、金融恐慌、昭和恐慌の流れと深刻さを理解する。
- ・ 「満州事変」から日中戦争への基本的な流れを理解する。
- ・ 日中戦争から太平洋戦争への流れを理解する。
- ・ 日本軍の組織的問題点について具体的に理解する。
- ・ 第2次世界大戦と科学技術の関連について考える。

## 第29週～第30週

- ・ 戦争が個人に及ぼす精神的な傷を負わせるのかを具体的に考え、その後の日本社会に戦争の影響が大きく残ったことを知る。